

波紋

1988

5

我々が求める人材とは、
若い人が求める会社とは、

月一回中堅会メンバー六名に社長を交え、森松がより働きやすく、より伸びる為には、我々はどうしたらいいか？ どんな事が出来るか？ その都度テーマを決め話し合っています。そして前回・表題のテーマ、いろいろ出された意見から、各5つ上位より取ってみました。そのギャップに悩んでいます。

求める人材

- ① 心身ともに健康である
- ② ファイトがある。
- ③ 協調性がある（性格が良い）
- ④ 常に夢、目標を持っている
- ⑤ 頭のいい人（やはり）

良い会社

- ① 業界で名前が通っている
- ② 所在地が中心街にある（名駅から栄の週辺）
- ③ 週休二日制
- ④ 若い人が多く活気がある
- ⑤ 業績が良い、将来性がある 給料が良い

交差点

「責任は自覚から発展は信頼から」

スキー・花見・潮干狩りも終り、楽しいGW（ゴールデンウィーク）がやってまいりました。会社も最必要期が過ぎ、平常に戻りつつあります。忙しい時期を皆さんの協力で、無事過すことが出来、ありがとうございます。社内では夏物・秋・冬に販売する商品作りで部門によっては、一休みする暇もない状態が続いています。

当社の営業社員は、「商品企画から生産管理、販売」まで一人で行動します。だから帰宅時間が遅くなる。そして取引先としっかり結びついていないと、商売がスムーズに進まない事になります。相手先の気持を理解し、適確な判断をしなくてはなりません。その点が自己の成長、精鋭につながります。

今後も、営業社員がのびのびと行動出来るように、全員のコミュニケーション作り頑張ります。

森 信之



トシ君の一方通行

妻を持つなら、「サザエさん」がいい。

彼女はオッチョコチョイだけれど断然素敵だ。優しさが満ち溢れている。

息子ならば「かつお君」だな。

彼は勉強は出来ないけれど素直でこれまた優しくて、愛すべき人物である。

「かつお君」はめんどろみが多くて、正義感があつて人見知りしない。

軽く扱われるかも知らないけれど、毎日会わなければ寂しい。そういう人間に、私の息子もなつて欲しい。

娘を持つなら「わかめちゃん」。

僕は娘はいないけれど、ああいふ思いやりのある娘がいれば、何と楽しいだろうと思う。

父親なら「波平さん」

頑固で強情で口うるさい。

でも、とっても愛すべき「人」……。

お袋ならば「舟さん」。(ベリーグッド)

♂・♀(休憩)

舟さんは慈愛に満ちている。こんなおばあちゃんがいたら、世の中和になる。

亭主は「ふぐた ますお」さん。

この人は多少頼りないかも知らない。

でも、この人とならズッと付き合えると思ふ。

私だけであろうか、「サザエさん」を見て

その様に思ふのは……。

競争社会、おおいに結構、負けたら負け！

勝つたら、勝ち。

でも、「サザエさん一家」が軽んじられるよ

うな風潮は如何なものか？

だけど競争社会って厳しいなも！

「逃げちゃ あかんぜよ」

募集 「かつお君」

森松グループ

『フォーシーズン』

またか、とお思いでしょうが、武田信玄の人間観察の中に『似て非なるもの』というのがある。例を挙げれば

1、あわて者と機敏な人

2、鈍い者と沈着な人

3、お調子者とさげすまれた人

4、頑固者と意志の強い人

他にもたしかありましたが、本当に、なる

ほどなど思われました。これは信玄が家臣

を掌握する為に注意した事だそうですが、日

頃の自分の行動に置換えて考えると、またお

もしろいものです。

落着いて行動しようと思うと、『決断力の

ないやつだ。』と思われたり、根アカで楽し

いイメージを相手に与えようとして、『軽い

やつだ。』と思われたり。まじめに努力して

いるのに、『融通のきかないやつだ。』と思

われたり、むつかしいものです。

結局、T・P・Oを考えて行動しなければ

悪く思われるものです。T・P・Oを考えれば

あわて者も機敏になれるものです。それ

もだめな時は自分と相手が根本的に相性が悪

いと思つてあきらめましょう。

牧野 光昌

明日を担うフレッシュマンの集い

フレッシュマンの集い(合同入社式)に、参加して、感じたことは、これからの仕事のためになる話を沢山聞けたことが実感として感じました。

まず始めに、すばらしいなあと思ったことは先輩からの激励の言葉でした。まだ入社してから一年しかたっていないのにしっかり口調で自分の言いたいことをしつかり言っていたのにはおどろきました。次に鎌田先生からのお話は、プロということはこういうことかということをお教わりました。プロとは、相手の立場になって物事を考えられる人のことを言うことです。確かに自分がお客として、何か物を買に行ったとすると、その店の雰囲気や店員の態度はどうか、店はきれいかなどを見て決めます。だから売る方も買いか(お客)の立場になって仕事をしなければならぬということを学びました。そして私たちの最大の特長として若さということだそうです。それは未来の時間を沢山持っているということ、常に時間のむだ使いをする事なく、計画を立てて人生を生きていけと云うお言葉でした。自分にとって深く考えさせられる言葉ばかりでした。このお言葉を土台として、社会の一員として恥じめ行動を責任を持ってしていきたいと思つています。この合同入社式に参加できたことを感謝したいと思つています。

鳥羽 幸治



入社式出発前にパチリ

「森松」に入社して

私は、学校の先生の紹介で森松に入社しました。

森松に初めて訪問した時、いろいろな話を聞いて驚きました。扱っているビニールの種類の多さと多方面にわたる製品にとっても驚きました。今でも、伝票などを見たり、出荷分のエフを貼る時に驚かされます。

今まで十二年間学生をしてきて、社会の事などよくわからない私が社会人になりました。自分でも不安で、戸惑う事が多いです。学校とは全く違う会社で、どう過ごしていくか！これが私の課題です。今、いろんな事が頭の中に浮かんできます。目標を持ち、それに向かって努力したいと思います。

これから、先輩方の指導により一日も早く仕事を覚えて頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

水野 陽子



今年の四月から森松に入社いたしました。入社して初めて思ったことは、一人一人が仕事に対してとても熱心だということです。そしてこんなに明るいとは思いませんでした。とにかく皆さんを見習わなくてはいけないと思いました。

今、まだ学生気分が抜けず、気が付かない点がたくさんあり、先輩方に御迷惑ばかりかけて足を引っ張ってきたような気がします。一日も早く、先輩方に一步でも近づく様、社会人としての自覚を持ち、頑張っていきたいと思えます。

早く会社に慣れ、一つ一つの仕事を確実にこなせる様に努力し、教えていただいたことを覚えて行きたいと思えます。わかるようになるまでに少し時間がかかると思いますが頑張りたいと思います。そして楽しく仕事をしたいと思っています。

これからも、まだまだ御迷惑ばかりかけると思いますが、よろしくお願いします。

亀井 敏代

暮しのエッセイ

「学友」

先日、高校時代の友人と六年ぶりに会いました。

「ヨウ」「オウ」の挨拶で、なんの違和感もなくうれしい。

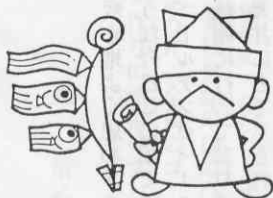
「あん時のお前は……」「お前こそ……」と話はずみ、あの頃にタイムスリップした様に錯覚し、学生服姿の彼が何度もちらつきました。

又、仕事、将来の事等の話をすれば、似た様な事で悩んでおりました。

しかし、彼は「いずれは独立したい」（えっ、お前が？）と思うほど意外な言葉でしたが、どことなくたくましく見え、変わったな一と感じました。お互い、共進したいものです。（がんばらなきゃ）

ほんの数時間の会話でしたが、忘れかけていたあの「ぬくもり」と「やる気」を思い出させてくれました。友人とは良いものです。また、数年後、彼に会うのが楽しみです。

安井 浩二



今月の社内行事

一日～五日 休業
パソコンスクール開講
(社内)

七日 (F・M・S)
フレッッシュユマンスクール
午前七時半より

十二日 中堅幹部会議

十四日 森松野球部

△中年対若手対抗試合▽
稲永公園Fグラウンドにて

午後六時～午後八時まで

テニス同好会

稲永公園球場にて

午後六時～午後八時まで

二十二日 テニス同好会

稲永公園球場にて

午前八時半～
午後十二時まで

二十八日

若手モーニングスクール

新入社員歓迎会

午後六時～

午後八時半まで
いむらにて

二十九日 テニス同好会

稲永公園球場にて

午前八時半～

午後十二時まで

三十日 経営会議

午前七時半より

「我が家の事件簿」

食事時のひととき

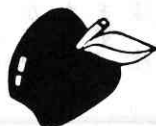
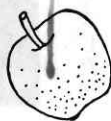
うちの場合は、四人家族で子供二人ももう働いている為、なかなか家族四人がピタリとそろって食事をするということがありません。こういうことは私の家庭だけではなく、他の家庭でもあることだと思えます。特に時間の不規則な仕事ですとよけいにそろることがありません。男の人の場合は特に残業や、夜勤などがあると必ず家族の一人は欠けているものです。うちの場合もそうで、私と主人の二人だけでの夕食や、私と娘の二人の時も少なくはないのです。けれど時々家族四人そろっての食事の時は、それはもうしゃべりっぱなしなのです。ふだん話すことができないせいもあるのでしょうか、次々と交互に話が出てきて止まることがないのです。うっかりしているともう時間がずい分たってしまったってあわててあとかたづけをするということもしばしば。ですが職場で神経をピリピリさせて、一日の仕事を終えて家に帰り食事をしながらおしゃべりをして、TVを見ている時が一番気持ちが落ちついている時だと思います。本当に食事時のいっときの間のことですが、唯一私にははっとできる時間です。

中神 妙子

※クイズコーナー※

1個80円のりんごと1個100円のなしがある。1,300円でこのりんごとなしを合わせて15個買いたい。

りんごとなしをそれぞれ何個買えばよいか。



締切5月15日抽選にて3名様に素的な賞品をさし上げます。どんどん御応募下さい。

今月のことば

土の中の水道管
高いビルの下の下水
大事なものは表に出ない

●編集後記

初夏の風が大変心地よく思わずウトウトしてしまいたいそうな今日この頃です。待ちに待ったゴールデンウィーク、私は去年、津島の藤棚に行つて参りました。淡い紫色の花を天井にとてもきれいでした。

又、今年より「国民の休日」も設けられ長い連休となりましたが、皆さんは、どの様に過されますか？

又四月から、森松グループの一員となつた五人の新社員の方も少しずつ慣れてきた様です。今月は、森松恒例の中年対若手の野球の練習試合、テニス同好会等と沢山の行事もありますので、どんどん参加しスポーツを通じて、森松色？に染まっていって頂きたいと思えます。

編集発行者
森松株式会社

発行責任者
橋本正子
昭和63年4月1日
第35号